

学校教育課だより

かけはし



学校教育課だより
「かけはし」
【第1号】
平成30年
4月20日発行
御殿場市教育委員会
学校教育課

春雨や 蓬(よもぎ)をのばす 草の道

〜平成三十年度の教育展望〜

教育長 勝又 将雄



春の訪れを感じる松尾芭蕉の句です。

子どもたちにとつては進級・進学の日となる大事な四月です。教職員にとつても人事異動により新しい組織スタンプで動き出す大事な時です。入学式、始業式はいかが

でしたか。「黄金の三日間」の出会いを楽しめましたか。「最初の一週間」「最初の一月」の意識も持ちたいと思います。

同時に「平成時代」三十年の節目の年を迎えます。新しい元号の話題も湧く中、平成三十年度のスタートとなります。

新しい十年間構想を構築しつつ、新しい教育改革(新学習指導要領)への対応を確かなものにしたと考えます。新三学期制も確かな歩みを重ねる二年目となっています。本年もよろしくお願ひします。

支度 黒田三郎

何の句いでしよう

これは

これは春の句い

真新しい着地(きじ)の句い

真新しい草の句い

新しいもの

新しい句い

匂いのなかに

希望も

夢も

幸福も

うっとり

浮かんでくるよつです

「こつたがえす
人いきれのさなかで
だけどちよつぱり
気がかりです
心の支度は
どうでしょう
もうできましたか

全国各地で例年より早めとなる桜満開の季節でした。入園式、入学式の希望に満ち溢れた子どもたちの姿に学校も教職員も気持ちを新たにしましたものと思います。

昨年度より、市内小中学校は「新三学期制」へ移行し、教育課程編成は、「季節感」を盛り込んだものを期待しています。

子どもたちは、新しい園・学校生活を送り、日々季節の風の中で一年間の「確かな成長」を図っていきます。温かな家庭教育を基盤として、素直でたくましい子どもの育成、明るく元気な学校づくりを意識して、教育行政も協力して、御殿場らしい「いい教育」に

力を注ぎたいと考えます。子どもたちの成長と同時に、私たち教職員もお互い切磋琢磨しつつ、頼もしい教職員へと成長していきたいと思ひます。

子どもたちの安心・安全な園・学校生活を母体に、保護者、地域に「信頼」される園・学校づくりを目指して、さら

市教職員着任式

平成三十年四月二日、二十五名の転入職員と十九名の新規採用職員、総勢四十四名の教職員の皆様を御殿場市にお迎えすることができました。皆様のよさを存分に発揮していただき、チーム御殿場で活力のある、信頼される学校づくりを目指していきます。「豊かな感性」「確かな知性」「健やかな心身」を重点目標として、富士山のように優雅でたくましい子どもを育成していきます。



転入者代表の言葉



御殿場市立御殿場中学校

北條 和広

本日は、お忙しい中、わたしたち転入職員のために、このような式を開いていただき誠にありがとうございます。

「春」「四月」希望と期待を抱くこの季節を御殿場の地で迎えることができました。学校では、特別の教科道徳、外国語活動、働き方改革、新学習指導要領実施に向けてと、それぞれの立場で取り組むべきことが様々にあります。

しかし、「子どもの笑顔のために」わたしたちの役目は変わりません。それは、「確かな学力をつけ、人格を育てる」ことです。

子どもの笑顔はわたしたち教職員を、そして家庭を幸せ

にしてくれます。さらに、地域の結びつきを強くし、地域を豊かにしてくれます。御殿場を故郷として愛する子どもが、未来をつくっていく。改めて、わたしたち教育公務員の責任の重さとやりがいを感じていくことができます。至らぬ点は皆様からの御指導をいただきながら職務に専念していくことを誓い、代表のことばとさせていただきます。

初任者代表の言葉



御殿場市立御殿場小学校

佐々木 大地

全国各地から桜の開花の便りが届くようになりました。私たちが十九名は教職員としての第一歩を豊かな自然に囲まれた富士山麓、御殿場市で迎えます。これからの出会いに

期待に胸を膨らませる一方で、子どもたちの成長に大きく携わる、ひいてはこれからの社会をつくっていくことに大きな責任を感じています。子どもの頃の自分から見た先生はとも立派な大人でした。勉強のことなら何でも知っていて、運動もでき、絵も上手に描くことができます。自分たちができない喧嘩の仲裁も先生の手にかかれば簡単なことでした。

今まで出会ってきた先生のなかで、特に大学三年生の実習でお世話になった先生が印象に残っています。その先生はいわゆるベテランの先生で、子どもたちと上手にコミュニケーションをとりながら楽しい授業をしていました。しかも楽しいだけでなく、きちんと学びのある授業で、非の打ちどころがありませんでした。それでもその先生はさらに良い授業を求め、教育について一知半解な実習生の私の意見も貴重なものとして扱ってくれました。昨今「学び続ける教師」というものがより求められています。言い換えればそれは謙虚な姿勢です。そしてその姿勢が愛情として

伝わり、子どもたちとの信頼関係を築いていくのだと思います。

教育実習で私は初めて教壇に立ち、たった三週間ですが先生になりました。いざ先生という立場になると、自分の未熟さと、昔の自分が見た先生との大きなギャップを感じました。今でも自分が立派な大人だとは到底思えず、また、これからもしばらくはこのギャップを感じるようになると思います。

教員採用試験の勉強をしていくなかで、立派な大人、立派な先生とは具体的に何なのか、理想の教師像とぶつかりました。今まで出会ってきた先生を思い返すと、子どもとの関わり方、授業の仕方、性格など、誰一人として同じ人はいませんでした。それなのになぜ子どもたちの私ほどの先生にもついていこうと思ったのか。それはどの先生も子どもたちのために一生懸命になっただけだからだと思います。

「子どもが先生を育てるからそんなに心配する必要はない」大学の恩師が教職の道に進む私にくれた言葉です。この言

葉の裏には、子どもと積極的に関わり、子どもから多くのことを学ぶ先生になってほしいという願いが込められていると思います。子どもが初めて先生になることができます。今私たちができるのは、子どもたちのことを第一に考え、一生懸命になることです。私は一日一つ子どもたちの輝く一面を見つけることを目標に励んでまいりたいと思います。

教職員として全力を尽くしたい私たちですが、まだまだ未熟で、ときには大きな壁に立ち向かうこともあると思います。先輩方のアドバイスを真摯に受け止め、研修を深めていきたいと思えます。御指導、御鞭撻のほどお願い申し上げます。子どもと関わっていくなかで日々成長し、多くの失敗を糧に、理想の教師像に近づけるよう精進してまいります。



心踊る一年に

教育監兼学校教育課長兼 教育指導センター所長 勝亦 重夫



『ピカピカの一年生』という言葉があります。新年度がスタートし、子どもたちが新しいランドセルやランドカバンを背負って登校する姿を見ると、この言葉を美感します。

新入生だけではなく、新しい学年に進級した子どもたちもちよつぱり不安はあるけれど、新しい学校や学級で学校生活を充実させたいという前向きな気持ちも伝わってきます。春の訪れとともに、子どもたちの姿を見て、心がうきうきとし、元気をもらいます。

ここ最近、何度も感心させられる場面に出会いました。小学生や中学生が、道路を横断しようと待っているのを車を止めると、素早く横断歩道を渡り、その後はこちらに体を向けてお礼の会釈をしてくれました。昨今では、停車して待っていて、スマホを見

ながら、のろのろと横断をする大人が増えてきたのとは雲泥の差です。きつと学校や家庭で指導をしていて、それを実行しているのだと思います。このような姿を見ると心が温かくなります。

この行為から「相手を慮る」という言葉が浮かびます。自分のために車を止めてくれた人に対して「自分のために待っていてくれてるのだからなるべく早く渡ろう」「待ってくれた人に感謝の気持ちを伝えよう」という、相手の気持ちに寄り添った考えが伝わってきます。自分だけではなく、人と人との関係を知ることで、自分の世界が広がっていきま

す。きつと学校や家庭でこんなことを含めて話をしていただいてるのだと感謝します。行為を通して心を育てるという教育の原点が、そこにあります。

本年度の学校教育課の基本目標は、前年度に引き続き「人間力と社会力を核とする心の教育を基本に、確かな学力の定着を図り、安心安全で魅力ある教育を推進する」です。心を育てることをすべての教育活動で意識をしていきたいと考えます。そして、「特別支援教育」「授業づくり」「生徒指導」の推進を三つの柱とします。

「特別支援教育」では、特別支援が必要な子どもたちの増加をうけ、一人一人の困り感を敏感に受け止め対応していくことを願っています。

「授業づくり」では、新学習指導要領の実施に向けて、授業改善をさらに進めるとともに、本市の課題である「表現力の向上」のために、書いたり話したりする場を積極的に授業の中に取り入れてくださ

さい。

「生徒指導」では、子どもたちの安心できる居場所づくりのために、学級づくりを核として集団の質を高める事を進めてください。特に、いじめが大きな問題となっていてますので積極的な認知と組織対応をお願いします。

四月に誰もが持つやる気や意欲を生かし、それぞれの学校で充実した教育活動が進められることを願っています。

学校教育課

スタッフ紹介

今年度の学校教育課スタッフを紹介いたします。新しいスタッフは、写真付で紹介いたします。

【主席指導主事 小林 徹】

御殿場中学校よりお世話になります小林徹です。子どもたちが自分のよさを精一杯発揮して学ぶ。そして、先生方が元氣よく子どもたちと接し心から教えることに楽しさを感じられるようお手伝いしていきます。よろしくお願

たします。



【課長補佐(統括) 府川 健作】

学校教育課で三年目となりました。主に学校保健関係を担当します。子どもたちが、健康で逞しく思いやりを持った大人に成長できるように、お手伝いできればと思います。昨年度に引き続きどうぞよろしくお願

【主任 渡邊 ゆかり】

本年度より学校教育課に配属となりましたNew渡邊です。主に災害共済給付金、教科書無償給与事務等を担当いたします。皆様のお力になれるよう、迅速な事務処理に努めて参ります。どうぞよろしくお願



【主任 勝間田 哲哉】

学校教育課で五年目の春を

迎えることとなりました勝間田です。今年度は学校経営の基礎となる学籍を担当させていただきます。正確な事務に努めてまいります。一年間よろしくどうぞお願いいたします。

【主事 丸山 眞洋】

本年度より学校教育課に配属となりました丸山眞洋です。主に臨時職員関係を担当いたします。右も左もわからない状況で、皆様には御心配と御迷惑を多々お掛けすると思いますが、一日でも早く戦力となれるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



【指導主事 石田 善正】

引き続き、学校教育課でお世話になります。生徒指導、定数、国立教育政策研究所魅力ある学校づくり調査研究事業などを担当します。初心を忘れず、全力で業務を進めます。よろしく願います。

【指導主事 中西 直子】

本年度より学校教育課でお世話になります。主に特別支援教育、就学支援等を担当します。子どもや保護者に「寄り添う」ことを目標として、特別支援教育の充実を目指していこうと思えます。よろしく願います。



【指導主事 丹澤 謙志】

学校教育課職員として二年目となります。研修、幼稚園等を担当します。学校の子ども・職員・保護者の方々が充実した生活になるようがんばります。

【特別支援巡回指導員 勝又 立雄】

特別支援教育巡回指導員になりました。各校を訪問させていただき、特別な教育的支援を必要とする児童生徒のため、特別支援教育コーディネーターさんと連携を取りながら仕事を進めます。訪問の際にはよろしく願います。

【就学支援指導員 岩瀬 和代】

四月よりお世話になることになりました。御殿場市の子どもたちのより良い就学支援に向けて、お手伝いできたらと思っています。学校現場での経験を生かし、精一杯頑張ります。よろしく願います。



【幼稚園指導員 瀬戸 亮策】

本年度、幼稚園指導員を務めます瀬戸亮策です。幼少の接続を意識しながら子どもも保護者も通いたくなる幼稚園通って良かったと実感できる幼稚園を目指して訪問していきたいと思えます。よろしく願います。

【市教育相談員 長田 幸子】

四月より、市教育相談員としてお世話になります長田幸子です。今まで子どもたちと関わってきた経験をもとに心

がつかぬ教育相談ができればと思っています。どうぞ、よろしく願います。



【教育指導センター室長 高橋 正彦】

教育指導センター勤務二年目になります。昨年度は、教師の存在が子どもたちにとっていかに大きいものであるかを改めて感じた一年でした。先生方に、教師の仕事の価値を少しでも伝えていけたらと思います。

【教育指導センター指導員 岩田 京子】

指導員として四年目となります。若手の先生方の成長の過程に携わることの喜びと責任を感じる日々です。昨日より今日、今日より明日、着実な前進を目指して一緒に頑張りたいと思えます。よろしく願います。



【教育指導センター指導員 湯山 伸彦】

教育に関わることができていることに感謝しながら、微力ながら全力を尽くす決意でいます。若い教師に、教師になった醍醐味と将来に向けての思いを感じてもらうことが目標です。よろしく願います。

【教育指導センター指導員 芹澤 ゆき子】

指導員二年目で自分も勉強中です。頑張る子どもたちと前進する先生方、そして、学校・園に咲く沢山の笑顔の花に出会うことを楽しみにしています。よろしく願います。

【教育指導センター指導員 勝又 康次】

教育指導センター指導員として今年からお世話になります。若い先生方の授業力向上の手助けができたと思っています。精一杯の支援をしていきたいと思っています。よろしく願います。

